

果樹園だより

徳島県立池田高等学校三好校



ブドウの被害

ブドウの食害が出始めました。ブドウ園はネット張りを終えていますが、ネットの隙間を狙って侵入してきているようです。ネット周辺を点検した結果、侵入できそうな隙間をいくつか発見したので、それを修復しました。

ところが、それでも食害は防げず、ネットの裾をU字ピンで地面に固定したり、重なってるネットを紐で結んだりという対策をしました。これで十分だろうと思いましたが、そうはいきませんでした。その後も食害は続き、対策を考えましたが、お手上げ状態でした。

そこで、最後の手段として、食害にあったブドウをブドウ園の周りにエサとして置きました。これを食べて満足してもらおうという作戦です。その結果、正面に置いてあったエサは食べられていましたが、中の被害は確認できませんでした。しばらくこの作戦で対応していきます。



ブルーベリーの収穫

2年生の当番実習でブルーベリーの収穫を行いました。熱中症対策のため、朝早くからの作業になりました。ブルーベリーを収穫した後は、室内に移動し、選別作業を行いました。

収穫したブルーベリーはジャムに加工し、11月の楓祭（三好校の学園祭）で販売します。



新聞の取材

ナシ（幸水）の収穫販売を前に徳島新聞が取材に来てくれました。農場で写真を撮り、事務室でナシ栽培について苦労したことや今年のナシのでき具合についてインタビューを受けました。

この取材は8月8日の徳島新聞に掲載されています。



ナシ（幸水）の収穫販売

いよいよナシ（幸水）の収穫が始まりました。翌日の販売に向けて、前日は販売会場作りや箱作りをしました。

収穫したナシを見てみると、今年は小ぶりのため、贈答用の販売は少なくなりましたが、その代わり袋入りは飛ぶように売れました。販売会場には開始時間前からたくさん的人が行列を作りました。幸水は収穫販売を終えました。次は豊水の収穫販売になります。幸水販売時には豊水の販売時期が8月末を予定していることをお知らせしました。



樹木の管理

台風の時期になると、強風によって倒木や樹木の枝が折れことがあります。また、強風以外でも動物が樹木に登ることによって、大きな枝が折れることもあります。

特に老木といわれる高齢の樹木は内部がスカスカの状態でいることが多く、折れやすいです。折れた枝は運びやすいようチェーンソーで切り、処分します。



ナシ（豊水）の収穫販売

8月末からナシ（豊水）の収穫が始まりました。朝早い時間から収穫すれば、果汁が多いナシを収穫することができます。

今年は豊水も小ぶりの玉が多く、袋販売がメインとなりました。



夏休みを振り返って

夏休み中は雨も少なく、台風も来ませんでした。9月の初めに台風が隣の高知に県に上陸したものの、農場の被害は少なかったです。今年の夏は降水量が少なく、猛暑が続きました。熱中症対策として、暑い時間を避け、当番実習の開始時間を早めました。生徒たちも体調崩すことなく、当番実習を終えたことが良かったです。

果樹の生育に関しては、ナシが幸水、豊水とも小ぶりのできとなりました。しかし、今年のナシは甘いという声をよく聞きました。残念なのはナシやブドウの食害を防ぎきれなかったことです。来年は今年以上の対策をして夏を越そうと考えています